

平成27年度事業報告書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

社会福祉法人 有田つくし福祉会

1 法人の概要

主たる事務所所在地 ……和歌山県有田郡湯浅町大字栖原187番地の1

電話番号 ……0737-64-1866

代表者氏名 ……理事長 西林久子

法人認可年月日 ……平成12年7月14日

法人認可番号 ……441

設立登記年月日 ……平成12年7月21日

2 法人の行う事業

事業の種類 ……第2種社会福祉事業

名称 ……つくし共同作業所

事業種別 ……生活介護・就労継続支援B型（多機能型）

管理者名 ……野下康雄

定員／日均利用者数 ……40人／44.7人

職員数／支援職員常勤換算 ……20人／11.8人（年度末時点：併設分を含む）

就労支援事業指導員数 ……6人（年度末時点）

備考 ……利用契約者数：54人（年度末時点）
本体及び出張所各1箇所

名称 ……つくしんぼショート

事業種別 ……障害者・児童日中一時支援（市町村所管：つくし共同作業所に併設）

名称 ……早月農園

事業種別 ……就労継続支援B型

管理者名 ……西林則男

定員／日均利用者数 ……20人／13.8人

職員数／支援職員常勤換算 ……11人／4.7人（年度末時点）

就労支援事業指導員数 ……2人（年度末時点）

備考 ……利用契約者数：19人（年度末時点）

名称 ……あつぷるホーム

事業種別 ……共同生活援助、短期入所（併設）

管理者名 ……西林則男

定員／日均入居者数 ……12人／10.6人

短期入所定員／日均利用者数 …… 4人／0.8人 (延べ273人)

職員数／支援職員常勤換算 …… 11人／夜勤分を除き4.8人 (年度末時点：併設分を含む)

備 考 ……入居契約者数：12人 (年度末時点)
共同生活住居 (ホーム) 2箇所

名 称 ……有田地域生活支援センターつくし

事業種別 ……一般・特定・障害児相談支援、市町村相談支援事業 (受託)

管理者名 ……長尾正子

職員数 ……3人 (公益事業分を含む)

事業の種類 ……公益事業

名 称 ……有田地域生活支援センターつくし

事業種別 ……在宅リハビリテーション推進強化事業 (受託)

備 考 ……本事業は第2種社会福祉事業の有田地域生活支援センターつくしと一体的に運営し、会計も同一拠点として処理している。

3 定款変更の状況

- ・第18条「資産の区分」について、基本財産の追加 (あっぷるホーム新築分)

平成27年5月30日理事会及び同日評議員会にて決議 (同年6月10日和歌山県受理)

- ・第1条「目的」について一部事業の名称変更、及び第5章「公益を目的とする事業」を章立てのうえ一部事業を当該章に移動

平成28年3月31日理事会及び同日評議員会にて決議 (同年4月14日和歌山県認可)

4 役員等の状況

役職	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長・評議員	西林久子	平成26年7月22日	当法人職員	元つくし共同作業所運営委員長
理事・評議員	長尾正子	平成26年7月22日	当法人施設長	支援センター長 保護者
理事・評議員	馬谷哲雄	平成26年7月22日	自営	元つくし共同作業所事務局長
理事・評議員	鬼松光夫	平成26年7月22日	無職	後援会長 元つくし共同作業所施設長
理事・評議員	刑部悦代	平成26年7月22日	看護師	保護者 元つくし共同作業所運営委員長
理事・評議員	西林則男	平成26年7月22日	当法人施設長	早月農園施設長
理事・評議員	宮本久美子	平成26年7月22日	福祉施設施設長	一麦会施設長
監事	岡八重子	平成26年7月22日	税理士	会計事務所経営
監事	玉置春樹	平成26年7月22日	無職	保護者
評議員	安積寛尚	平成26年7月22日	会社員	保護者会長
評議員	家本欣明	平成26年7月22日	自営	後援会役員
評議員	境久	平成26年7月22日	無職	元保護者
評議員	榎野さえ子	平成26年7月22日	無職	元後援会役員

評議員	中井 勤	平成26年7月22日	自 営	地域住民代表
評議員	中西久光江	平成26年7月22日	自 営	元後援会役員
評議員	野下康雄	平成26年7月22日	当法人施設長	つくし共同作業所施設長
評議員	松原悦子	平成26年7月22日	無 職	保護者

5 理事会開催状況

第1回 平成27年5月26日 出席（理事8人・監事1人）

議事内容

- 1 平成26年度事業報告・決算について……………原案通り承認
- 2 定款の改定について……………原案通り承認

第2回 平成27年11月13日 出席（理事7人・監事1人）

議事内容

- 1 平成27年度第1次補正予算について……………原案通り承認
- 2 諸規程の改定について……………原案通り承認
- 3 その他……………原案通り承認

第3回 平成28年3月19日 出席（理事7人・監事1人）

議事内容

- 1 平成27年度第2次補正予算について……………原案通り承認
- 2 平成28年度事業計画・予算について……………原案通り承認
- 3 定款の改定について……………原案通り承認
- 4 諸規程の改定について……………原案通り承認
- 5 その他……………原案通り承認

6 主務官庁による監査等実施状況

主務官庁	監査等実施日	対象
和歌山県福祉保健総務課	平成27年12月21日	社会福祉法人有田つくし福祉会（法人）
和歌山県障害福祉課	平成27年12月21日	つくし共同作業所（生活介護・就労継続B型）
和歌山県障害福祉課	平成28年2月8日	早月農園（就労継続B型）

7 許可・認可・および承認に関する事項

なし

8 法人運営に関する特記事項

なし

9 運営の状況

法人運営

1、理事会・評議員会

前年度事業報告・決算、定款改定、諸規程改定、予算補正、次年度事業計画・予算などの案件について、理事会を3回、評議員会を3回開催した。

2、事業の整備状況

引き続き、「つくし共同作業所（出張所を含む）」・「つくしんぼショート」（就労支援・生活の支援、日中一時支援）、「早月農園」（就労支援・生活の支援）、「あっぷるホーム」（地域生活の支援、短期入所）、「有田地域生活支援センターつくし」（相談支援、在宅支援等）を行った。

あっぷるホームは移転完了後の初年度であったが、順調に推移した。

有田圏域自治体からの委託事業として平成28年度から基幹相談支援センターを設置すべく準備をすすめた。

3、職員の資質・専門性の向上

年間研修計画をもとに、研修の重要性、職員間の必要性・公平性などを考慮しながら職員研修を順次実施した。本年度はサービス管理責任者研修が1分野について1名完了、相談支援研修が1名完了した。また必要に応じ現任研修に参加した。

法人内全職員対象の内部研修を2回実施（接遇マナー、自閉症）した。

そのほか研修を行った分野として、外部研修（複数法人での合同自主研修を含む）では障害福祉施策全般、利用者支援全般（強度行動障害等）、虐待防止、人権、生産活動関連（製パン等）、食品衛生、社会福祉法人簿記など、自主研修では他法人事業所見学を行った。

4、対外活動など

後援会・保護者会と協同し「つくしバザー」を開催した。また地域団体主催の「ふれあい夏まつり」「チャレンジハイキング」に参加した。

従来から定例的に行っている地域交流行事として、早月農園で「喫茶早月」（毎月）、つくし共同作業所出張所（オリーブ）で「オリーブ秋まつり」（10月）を開催した。また地元文化祭への出展や地域行事への参加・販売などを行った。

年間を通し後援会・保護者会及び多数のボランティアから、訪問販売や地域行事での物品販売、湯浅駅前販売所「トライアングル」店舗運営、農作業指導・補助、さをり織り商品化、情報発信、物品寄付、ほか多くの分野で協力いただいた。

法人・事業の情報発信として、インターネットホームページを活用（つくし共同作業所・同出張所・早月農園については独自ページも開設）するとともに、紙面媒体である「つくしだより」も職員体制を整えて発行頻度と質を高めるように努めた。

各事業

1、「つくし共同作業所（含出張所）」（生活介護・就労継続支援B型）

「つくしんぼショート」（併設：日中一時支援）

①事業・定員

・生活介護（定員8）・就労継続支援B型（定員32）を多機能型として、及び併設事業として日

中一時支援（つくしんぼショート：地域生活支援事業）を行った。

②支援内容

生活介護

- ・日常生活支援：看護職員による毎日の体調チェック、服薬・食事・整容・排泄等の支援、支援プログラムによる定期的な活動（散歩・体操・腹筋運動・創作的活動・買い物・公共施設利用・ドライブ・足浴・音楽療法など）
- ・生産活動：生活介護班として主として企業・農家からの下請け作業
- ・年間延べ利用者数は2, 242人（1日あたり8.6人 利用率107.5%）

就労継続支援B型

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：
 本体班→パン訪問販売・配達、煎餅製造・販売、下請け（米袋再製品化等）、さをり織り、
 廃品リサイクル等
 出張所班→「カフェ&ベーカリー・オリーブ」におけるパン製造・店頭販売・訪販・納品等
- ・出張所利用者の出勤体制についての改定は持ち越しとなった。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習及び一般就労につながった事例は無かった。
- ・年間延べ利用者数は9, 441人（1日あたり36.1人 利用率112.81%）

事業間共通

- ・全利用者が給食サービスを利用した。必要に応じてアレルギー対応食や刻み食を提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回行った。生活介護以外の利用者も、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・有田歯科医師会の御好意による虫歯予防学習会を行った。
- ・避難訓練について、本体においては消防立会と自主訓練を1回ずつ、出張所においては消防立会訓練を1回行った。
- ・地域団体等主催の行事に参加した。また自主行事では、初の試みとして法人内事業所全体で「つくし運動会」を行ったほか、「オリーブ秋まつり」や忘年会等を行った。
- ・合計の年間延べ利用者数は11, 683人（前年度+849人）、1日あたり利用者数は44.7人となった。
- ・送迎サービスの延べ利用回数は12, 998回（片道1回の計算）となり、半数以上の利用者が送迎を利用した。利用率は近年上昇している。

日中一時支援

- ・有田地方自治体（有田市、有田川町、湯浅町、広川町）と契約を継続した。
- ・つくし共同作業所の併設事業であるため原則として支援日・支援内容は同作業所に準じ、別途対応となる事例は無かった。
- ・利用形態は、学校の長期休暇中の利用及び福祉サービスの繋ぎでの利用であり、利用数の実績は少なかった。

③生産活動全般（生活介護・就労継続支援B型計）

<事業収入>

収入額合計 41, 597, 467円（前年度から約9.5%増）

パン店頭販売・卸売……………34, 565, 387円（前年度から約6.0%増）

パン訪問販売…………… 3,901,241円 (前年度から約39.3%増)

さをり・下請け・煎餅等…………… 3,130,839円 (前年度から約21.3%増)

<利用者工賃(賃金)>

配分額合計 15,147,993円 (前年度から約10.8%増)

就労継続支援B型

平均時給額… 310円 (前年度+7円) 県標準算出法による

平均月額… 27,079円 (前年度+755円) //

生活介護

平均時給額… 106円 (前年度+2円) 県標準算出法による

平均月額… 9,969円 (前年度+601円) //

年間最高額868,933円 (前年度+48,163円) 平均年額275,418円:通年在籍者以外を含む

パン事業

- ・本年度も下記各販売が好評で事業収入は過去最高となった。
- ・出張所において自家製生地によるパン製造・店頭販売、本体において地域の訪問販売(有田市・湯浅町・広川町地区)を主として行った。
- ・湯浅駅前の販売店「トライアングル」の運営(借受満了に伴い本年度で終了)、早月農園への卸売、「ありだっこ」「ほたるの湯」「藤並駅販売所」など地域の店舗へ納品・委託販売、ほか注文販売などを行った。
- ・6月に「7周年フェア」を、11月に地域交流を兼ね「秋まつり」を開催した。

さをり・下請け・煎餅事業

- ・本年度は下請けの新事業(米袋)等により事業収入は過去最高となった。
- ・多彩な品揃えのさをり織りや地域の特産品を使った煎餅は好評で、それぞれ商品として確立した。一方で量産が難しいため大きな伸びにはつながらなかった。
- ・下請けは、業者からの米袋・日用品・簡単な工業品等、農家から出荷ダンボール組み立て等、リサイクル作業としてアルミ缶ほか廃品類の回収・出荷作業を行った。

④その他

生活介護・就労継続支援B型それぞれにおいて、1日あたり利用者数が定員を上回る結果となった。(制度に定める上限範囲内)

2、「早月農園」(就労継続支援B型)

①事業・定員

- ・就労継続支援B型(定員20)を行った。

②支援内容

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練:農業に関する作業、パン訪問販売など。両者には明確な活動班の区分を設けず、利用者の体調など時々状況を見て対応した。
- ・一般就労に向けた支援:施設外の実習や一般就労につながった事例は無かった。
- ・全利用者が給食サービスを利用した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回を行ったほか、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。

- ・有田歯科医師会の御好意による虫歯予防学習会を行った。
- ・避難訓練について、消防立会訓練と自主訓練を各1回ずつ行った。
- ・地域団体等主催の行事に参加した。また自主行事として「つくし運動会」のほか、毎月の「喫茶早月」、バーベキューやクリスマス会などを行った。
- ・年間延べ利用者数は3,555人（前年度+478人 1日あたり13.8人 利用率69.0%）
- ・送迎サービスの延べ利用回数は6,894回（片道1回の計算）となり、ほぼ全ての利用者が送迎を利用した。

③生産活動

<事業収入>

収入額合計 11,091,271円（前年度から約55.3%増）

農業……………8,558,853円（前年度から約71.0%増）

パン訪販……………2,532,418円（前年度から約18.6%増）

<利用者工賃（賃金）>

配分額合計 4,331,176円（前年度から約33.8%増）

平均時給額…306円（前年度+36円） 県標準算出法による

平均月額……………22,676円（前年度+3,063円） //

年間最高額560,245円（前年度+123,395円）平均年額206,246円：通年在籍者以外を含む

- ・工賃実績はつくし共同作業所の就労継続支援B型とほぼ同水準となった。

農業事業

- ・借受果樹園の収入等により事業収入は過去最高となった。
- ・果樹園による果樹栽培、露地・ビニルハウスによる野菜類栽培を行い、出荷、販売した。
- ・本年度は地域農家から新たに梅畑（約8.5a）を借り受けた。
- ・栽培品種は、みかん・はっさく等の果樹類、きゅうり、ししとう、なすび、白菜、レタス、ふき、山椒、玉ねぎ、じゃがいも、ニラ、あずき、しいたけ、ミニトマト、菜花など多岐にわたった。収穫物を利用した自主製品づくりは小規模なものにとどまった。
- ・例年どおり夏場の暑さ対策には入念に配慮を行った。

パン訪問販売事業

- ・事業収入は過去最高となった。
- ・地元の有田川町地区において、カフェ&ベーカリー・オリーブのパンの地域訪問販売をおこなった。
- ・販売エリアが広域に及ぶため、パンの仕入れと販売体制を工夫し職員も一部増強して対応した。

④その他

- ・新設事業所であり利用者確保が課題であったが契約者数はほぼ定員数に達した。
- ・従来より農業部門に就労支援事業指導員を配置し農繁期には季節増員も行っているが、当初よりも農地は大幅に増えており、ピーク時必要労力の確保が課題である。

3、「あつぷるホーム」（共同生活援助）

（併設：短期入所）

①事業・定員

- ・共同生活援助（定員12：男性6女性6の2住居）及び併設事業として短期入所（定員4：男性2女性2）を行った。
- ・新築移転計画が完了したことにより本年度から利用者全員が新住居となり、短期入所も定員を拡大した。

②支援内容

- ・夜間について、引き続き各住居にキーパー（世話人・生活支援員）の夜勤による夜間支援体制を実施した。
- ・共同生活援助の利用者について、年度途中で新規契約が1件（男性）あり、本年度末での利用契約者数は12人（定員空きなし）となった。
- ・年間延べ利用者数は3,859人（1日あたり10.6人：帰省などがあるため契約者数どおりでは無い）であった。
- ・支援の課題や情報を共有するため、住居毎に月1回連絡会（各キーパー及びサービス管理責任者・管理者など）を開催した。
利用者について、当法人の日中活動サービス利用者だけでなく一般就労者や他法人の利用者など多岐にわたるようになり、外出時間や休日等が異なるため、必要箇所と連絡を取り合い、伝達事項等に疎漏がないように注意した。
- ・避難訓練について、消防立会訓練を住居間合同で2回実施した。
- ・新ホーム1周年パーティやクリスマス会など、節目で行事を催した。また法人全体で「つくし運動会」を行った。
- ・短期入所の年間延べ利用者数は273人となり大幅に増加した。日中活動系サービスとの併用だけでなく昼間時サービスの需要も高く、支援体制を整えて対応した。

③その他

- ・利用者の体調面や短期入所の利用増加などにより、支援時間や内容について柔軟な対応が必要な状況が増えており、体制を工夫して対応した（平成28年度は職員体制を増強する予定）
- ・事業の需要を見込み移転にあわせて定員を増加したが既に満室となり、今後の課題となった。

4、「有田地域生活支援センターつくし」（一般・特定・障害児相談支援）

（在宅リハビリテーション推進強化事業）

（市町村相談支援事業）

①事業

- ・一般・特定・障害児相談支援、受託事業として在宅リハビリテーション推進強化事業及び市町村相談支援事業を行った。担当職員で役割分担しつつ相互補完により運営合理化に努めた。

<一般・特定・障害児相談支援>

県指定の一般相談支援事業（地域移行・地域定着支援）、市町村指定の特定相談支援事業（計画作成）・障害児相談支援事業（計画作成・相談）を行った。

- ・一般相談支援：支援実績 1件
- ・特定相談支援：計画作成実績 239件・モニタリング実績193件
- ・障害児相談支援：計画作成実績 11件・モニタリング実績2件

<在宅リハビリテーション推進強化事業>

和歌山県から受託を継続した。契約した各分野の専門職とともに地域の家庭や事業所などへ訪問して下記の活動を行い、障害・躓きの早期発見、早期療育の観点に立ち、事業の質を高めるように務めた。

- ・在宅支援訪問療育等指導事業（本年度実績415件：前年度－66件）

地域の家庭や施設・事業所などを訪問して、生活状況の把握や社会参加の促進、看護師による体調チェック・服薬の管理・体調観察、保育士による療育支援、盲学校・ろう学校教員による視力聴力相談・学習支援、理学療法士による機能訓練・発達観察、音楽療法士による音楽療法などの支援活動や各種相談

- ・施設支援一般指導事業（本年度実績117件：前年度＋13件）

地域の学校、保育所、障害福祉事業所等へ訪問して、盲・ろう学校教員、保育士、理学療法士、音楽療法士による職員への各種助言・技術指導など

<市町村相談支援事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から、和歌山県福祉事業団「サポートセンターゆい」と共同で受託を継続した。事業運営にあたっては双方で連携し、役割を分担・協働して、身体・知的・精神障害及び発達障害の方などを対象に相談支援活動を行った。

- ・市町村相談支援（支援実績 375人・延べ3,562件：有田市142人・延べ1,499件、湯浅町104人・同770件、広川町67人・同791件、有田川町62人・同502件）

主な支援内容

- ・日中活動や居宅支援などの福祉サービス利用について
- ・福祉機器の利用、医療・健康管理、金銭管理、余暇・外出支援、通院引率などについて
- ・障害基礎年金、障害者手帳の申請の支援について
- ・求職活動、職場定着の支援などについて
- ・その他の相談

平成27年度 事業所行事等実施状況

つくし共同作業所 (つ)、つくし共同作業所出張所オリーブ (オ)、早月農園 (早)、あっぷるホーム (あ)

前半			後半		
四月	4.1	入所式 (つ・早)	十月	10.11	つくしバザー (つ・オ・早)
	4.1	引越しお祝い会 (あ)		10.17	喫茶早月 (早)
	4.3	花見 (早)		10.26	障害者スポーツ大会閉会式出席 (つ・オ・早)
	4.18	喫茶早月 (早)			
		十一月	11.5	避難訓練 (つ)	
五月	5.16		喫茶早月 (早)	11.5.19.26	インフルエンザ予防接種 (つ・オ・早)
	5.24		チャレンジハイキング参加 (つ・オ・早)	11.7	オリーブ秋祭り (つ・オ・早)
				11.12	ホーム一周年パーティー (あ)
六月	6.11	はみがき講習会 (つ・早)	11.21	喫茶早月 (早)	
	6.13	スポーツ交流会参加 (つ・オ・早)	11.25	劇団四季観劇会 (つ・オ・早)	
	6.20	オリーブ7周年フェア (オ)	11.30	健康診断 (つ・オ・早)	
	6.20	喫茶早月 (早)	十二月	12.10	忘年会 (早)
		12.14		忘年会 (つ・オ)	
七月	7.4	後援会交流会 (つ・早)		12.16	避難訓練 (あ)
	7.9	京都日帰り旅行 (早)		12.24	クリスマス会 (あ)
	7.18	喫茶早月 (早)	12.25	仕事おさめ (つ・早)	
	7.27	避難訓練 (早)	12.26	仕事おさめ (オ)	
八月			一月	1.4	仕事はじめ (つ・オ・早)
	8.1	バーベキューのつどい (早)		1.16	喫茶早月 (早)
	8.2	ふれあい夏まつり参加 (つ・オ・早)		1.29	避難訓練 (早)
	8.13 ~ 15	夏季休業 (つ・オ・早)	二月	2.15	収穫祭 (早)
		三月		3.18	避難訓練 (つ)
			3.19	喫茶早月 (早)	
九月	9.19		喫茶早月 (早)	3.28	避難訓練 (オ)
	9.27	つくし運動会 (つ・オ・早・あ)	3.31	花見 (早)	
			3.31	避難訓練 (あ)	